

平成18年12月1日
(2006)
第67号
毎月発行
編集
公民館だより編集室
発行
西東京市保谷公民館

西東京市 公民館だより

| | |
|--------------------------------------|--|
| 田無公民館 南町5-6-11 TEL 461-1170 | 保谷公民館 柳沢1-15-1 TEL 464-8211 |
| 芝久保公民館 芝久保町5-4-48 TEL 461-9825 | 住吉公民館 住吉町6-1-25 TEL 421-1125 |
| 谷戸公民館 谷戸町1-17-2 TEL 421-3855 | ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 TEL 424-3011 |



市民向けコンサートを開催 病院スタッフの挑戦

クリスマスも近い、平成15年12月のある夜、田無駅に程近い山田病院の1階外来受付ロビーは、ビッグバンド・ジャズコンサートにステージに変貌しました。客席は120席。ジャズバンドの響きが、およそ病院とは思えない雰囲気をももしました。ジャズのスタンダードやクリスマスソングなどが演奏されました。

以来、毎年7月と12月の2回地域の方々に音楽を楽しんでもらおうと、外部から演奏者を招き、コンサートを開催してきました。病院の職員、医師有志で費用のカンパも含めて続けてきたのです。

回を重ねることに観客も増え最近では立ち見も出るほどです。玄関を入るとすぐに、コンサート会場になる外来受付ロビーがあります。ガラス張りの中庭には、病院のシンボル、桂の樹があり、この樹を背景に演奏を披露します。

7月は、三味線、箏、和太鼓等を使った和楽器演奏。12月はジャズなどの洋楽を演奏します。いずれも出演者はセミプロレベル。時にはプロの方も何人か出演します。

今では出演者からも、今年はいつやるの?と、逆に問い合わせてあります。演奏する側にとっても、フラットなスペースで間近にお客さんと接する貴重な機会となっています。

「始めたきっかけは、精神病院に対する偏見をなくすことでした」と企画した総務の山田さんと医療相談室ソーシャルワーカーの山口さん。

山田さん自身もトランペットを演奏し、アマチュアのビッグ

サークル訪問 ～武蔵野句会～

月1回、芝久保公民館を拠点に活動している武蔵野句会を取材しました。

平成6年公民館文学俳句講座「種田山頭火」から自主グループになり、平成7年1月から俳句グループ武蔵野句会として活動しています。会員は、15人で発足以来の会員も数人います。私たちが伺った時は、夏から初秋にかけての季語を用いて三十近くの句が出されていました。各自でよいと思った句をいくつか選び、支持の多かった句を講師が発表します。

講師が、世間話も交えながらメンバーと対話していきます。この世間話がなかなか面白い。俳句にまつわる話をちりばめながら、また、巷のニユースでは分らないような裏話等を歯切れよく話し始めるのです。これに

バンドに所属しています。病院のコンサートでも演奏し、司会もこなします。

「生の音を聴く機会はなかなかないので、来ていただいた方には好評です。今後はクラシックコンサートなども企画して、長く続けていきたい」と抱負を語ります。

山口さんも「現在は、うつ病などについても以前よりもかな

対し、聞いているメンバーは、いつしか講師の言葉の世界へと誘われます。

時には、吟行といってメモを片手に深大寺や国分寺などに出かけていきます。

この俳句会に入ったきっかけをメンバーの一人に尋ねてみると「主人が入っていました。私が続けてやっています」ということでした。入会するきっかけはさまざまですが、暖かく和やかな雰囲気を感じられます。

機関誌「ぬくもり」は、発足以来隔月発行しています。現在、通巻71号になっています。

今後は、句集が百号になったら、みんなで記念の会をしよう。楽しみに話しかけています。

句会見学、入会は初心者も大歓迎です。

連絡先 高林 ☎461・9825
甲斐 ☎462・7422

余生をば追う夢のあり去年今年
鈴鳴らし行く馬の背に秋あかね
咲き初めてたれに告げむか胡蝶蘭
十葉も水盤に活け蔵の街
寝てもよし寝なくてよし春うらら

り知られるようになりました。精神科というだけで敷居が高いという印象をなくしたいのです。コンサートが市民と精神科の垣根を取り払うきっかけにもなれば」と話します。

今年のクリスマスコンサートは12月8日(金)夜です。ぶらりと出かけてみてはいかがでしょう

か。